

●受難節第六主日

泉のほとり

今月の詩編「第一一五編」

わたしたちこそ、主をたたえよう

今も、そしてとこしえに。
ハレルヤ。



民を導く方は

神は、長年エジプトの奴隷とされている民の痛み、苦しみを全て知っておられました。民を救い出すためにシナイ山に降られ、80歳になったモーセの前に現れ、彼を民の指導者、解放者として召されます。一見、若くて、力に満ち溢れている人の方がその務めに相応しいように見えますが、神の選びは違いました。

モーセを待ち受けるのは、残酷なファラオです。彼は王の前に立ち、「イスラエルを去らせなさい」と危険をかえりみず、神の御心を大胆に伝えるのです。ところが、王は全く耳を傾けません。そこで神はエジプトにわざわいをくだされます。甚大な被害が出るたびに、モーセは呼び出され、いつ王の逆鱗が降り掛かかってきてもおかしくない中、なおも民の解放を訴え続け、民のために行動していくのです。神は彼を通して、あらゆるみわざを行われ、強大なエジプトから民を完全に贖い出してくださいました。

その後の歩みも平坦なものではありません。民は水も食べ物もない荒野に足を踏み入れた途端、モーセに不平不満を言い始めるのです。更に、仲間同士の揉め事や争いも後を絶ちません。小さなトラブルから、大きな事件まで、事が起こるたびに、人々が来て、自分の都合や主張や要求を次から次へと訴え続けてきたのでしよう。想像もつかないほどの重荷があったに違いありません。その中で、モーセは自らの労苦をかえりみず、常に神の御心を求めながら、正しい道を教え、誠実に対応していくのです。

それでもなお民は不信仰の歩みを続けます。金の子牛を造り、偶像を神として拝むこともありました。またカナンを目前にした時、カナンの人々を恐れ、神に

対し不満を爆発させ、エジプトへ帰ろうとしました。いずれのときにも、神は民を滅ぼそうとされていた。その中で、モーセは激しいお怒りの前に立ち、自らを投げ出し、民のために執りなすのです。神に反抗する民を見捨てることなく、憐れみを願い求めていました。まさに自分自身をささげるのです。民への深い愛が伝わってきます。そのモーセが民を導く務めに用いられました。

モーセは預言しました。「神はあなたがたの中から、わたしのような預言者を立てられる」。その預言者こそイエス・キリストです。神は預言通りに、御子をお遣わしくされました。主は福音を宣べ伝え、数々の不思議なみわざを行われました。神への立ち返りを呼びかけ、真実な御言葉を語り、正しい道へと導こうと働かれました。しかし待ち受けていたのは、民の反抗です。主は拒まれ、捕らえられます。十字架に迫りやられ、磔にされるのです。すべての苦難を耐え忍ばれ、死なれたのです。罪の贖いを成し遂げ、人を生かすために、ご自分をささげられたのです。

主の十字架のみわざを受け、生かされています。更に一人一人をこの世から買取り、教会としてくださいました。主に従い、隣人のために生きる、その確かな道を歩み続けるよう、招いておられます。恵みとまこととをなしてくださいました神の御前に感謝と讚美を携え、主に従って歩むことで、応答していきたいと思えます。

家庭や職場での働き、教会での奉仕など、それぞれが召されている務めがあり、その場で与えられている人々がいます。十字架の主イエスを知るものとして、置かれたところで、真実を尽くし、苦難があっても忍耐していく、その道を歩んでいきましょう。モーセ、主イエスのお姿を模範として、自らの務めに励んでいきたいと思えます。

公 告

左記により、四月教会総会を開催致します。
現任陪餐会員はご参加下さい。

2025年4月13日

キリスト品川教会
代表役員 黄允滉

記

日時 2025年4月27日(日) 12時30分
場所 グローリア・チャペル・地下ホール

及びリモート

議題

- 2024年度教勢報告承認に関する件
- 2024年度諸会計補正予算及び決算報告、
財産目録承認に関する件
- 2024年度諸報告に関する件

《今日のお知らせ》

○今週は受難週です。一七日(木)一九時から聖晩餐
礼拝を行います。

○この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚(八〇〇
字)以内でお書きいただき、ご提出ください。
メールでの提出も受け付けます。アドレスは
ent@gloria-chapel.com です。

○前回の三月総会記録を配布しました。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《教育奉仕委員会より》

本日の礼拝後、一二時開始予定にて地下ホール
で「レント感想発表の会」を開催いたします。
教会員皆さまのご参加をお待ちしています。

《コイノニアキャンプについて》

- 参加者を募集しています。
- ・日時：七月二六日(土)から三〇日(水)
- ・場所：台湾・高雄新興教会
- ・参加費：一人七万円(高校生以上の学生、二〇代の教
会員には補助があります。)
- ・申込期間：四月二〇日(日)まで
- 申し込み書は事務所にあります。

○コイノニアキャンプのための献金にご協力をお願い
いたします。献金袋は事務所窓口横にご用意しておりま
すので、ご利用ください。皆さまのお祈りと献金を通
して、コイノニアキャンプをお支えください。

《奉仕班より》

四月二〇日のイースター礼拝後、祝会があります。そ
の時に、サンドイッチをお召し上がりになる方は、事前
に申し込みを受け付けています。ディアコニアショップ
横にある封筒にお名前をお書きになり、代金四〇〇円を
入れて、その下にある箱にお入れください。

※先週、ロイヤルミルクティと記載がありましたましたが、サ
ンドイッチのみです。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇一一五篇】

わたしたちではなく、主よわたしたちではなく

あなたの御名こそ、栄え輝きますように

あなたの慈しみとまことによって。

なぜ国々は言うのか

「彼らの神はどこにいる」と。

わたしたちの神は天にいまし

御旨のままにすべてを行われる。

国々の偶像は金銀にすぎず

人間の手が造つたもの。

口があつても話せず目があつても見えない。

耳があつても聞こえず

鼻があつてもかぐことができない。

手があつてもつかめず足があつても歩けず

喉があつても声を出せない。

偶像を造り、それに依り頼む者は

皆、偶像と同じようになる。

イスラエルよ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

アロンの家よ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

〔司・会〕

主を畏れる人よ、主に依り頼め。

主は助け、主は盾。

主よ、わたしたちを御心に留め

祝福してください。

イスラエルの家を祝福し

アロンの家を祝福してください。

主を畏れる人を祝福し

大きな人も小さな人も祝福してください。

主があなたたちの数を増してくださいように

あなたたちの数を、そして子らの数を。

天地の造り主、

主があなたたちを祝福してくださいように。

天は主のもの、地は人への賜物。

主を賛美するのは死者ではない

沈黙の国へ去つた人々ではない。

〔司・会〕

わたしたちこそ、主をたたえよう

今も、そしてとこしえに。ハレルヤ。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「十字架上の祈り」

聖書 ルカ23章32〜37節

説教者 宮間彰広兄

《聖晚餐礼拝》

讃美歌 136番 268番

説教 「すべてを成し遂げられた」

聖書 マタイ27章45〜56節

説教者 黄允湜牧師

《次週の礼拝》

イースター礼拝

●子ども礼拝(午前9時20分・礼拝堂)

説教 「わたしの父、そしてあなたがたの父」

聖書 ヨハネ20章11〜18節

説教者 吉村和雄名誉牧師

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 154番 148番

説教 「さあ、朝の食事をしなさい」

聖書 ヨハネ21章1〜14節

説教者 黄允湜牧師



主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 139番 279番
説教 「最後まで愛された」
聖書 ヨハネ13章1～20節(新約 P.194)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「血しおしたたる」によるソナタより
「第2楽章」F.メンデルスゾーン

○讃美歌139番

1. うつりゆく世にも かわらで立てる

主の十字架にこそわれはほこらめ

2. 聖書のひかりは つみをあがなう

十字架のうえにぞみな集まれる

3. おそれとなやみの せまるときにも

十字架はやすきと よろこび満てり

4. 十字架のうえより さしくるひかり

ふむべき道をばてらしておしう

5. わざわいさいわい よしあしともに

ただ十字架にこそ きよくせらるれ

アーメン

○聖歌隊による讃美

「棕櫚(しゅろ)の葉」J.B.フォレ 作曲

祭りのために棕櫚の葉

全ての道に飾られぬ

我が涙を拭うため

イエス来たりたもうこの日ぞ

来たりて歌えよ

声を合わせて高らかに

ホサナ讃えよ

我が救い主に御栄えあれ

喜べエルサレムよ

自由の歌を響かせよ

とこしえの命の主

我らを解き放ちたもう

来たりて歌えよ

人皆は声高らかに

ホサナ讃えよ

我が救い主に御栄えあれ

○讃美歌279番

1. 世のほこる 知恵とさとの

頼りがたきを 知らしめたまえ

月かげの 青きより澄みて

わが魂に そそがせたまえ まことのひかり

2. 世のしたう 愛となさけの

移り易きを さとらせたまえ

あかつきの ひかりより清く

わが魂に みたしめたまえ とこしえの愛

3. 主にありて 生くるわが身の

きよき喜び うたわせたまえ

真理 愛 いのちも望みも

主よりいざれば あおがせたまえ

イエス・キリストを

アーメン

聖餐曲「血しおしたたる」によるソナタより終楽章

F.メンデルスゾーン

後奏曲「いつわりの世に別れを告げ」J.S.バッハ